

菊水地区の安心・安全を守るために

― 菊連協が取り組む地域防災 ―

菊水町内会連絡協議会

防災部長 小笠原 征治

菊水町内会連絡協議会では、これまで地域の皆さんが安心して暮らせるまちづくりを目指し、さまざまな活動に取り組んできました。

しかし、地域を取り巻く環境や町内会の状況が変化する中で、近年はこれまで行ってきた事業について見直しを進め、終了や縮小をしたものもあります。

そのような中でも、私たちが継続していくことを決めたのが「**防災部**」です。

これは、いつ起こるか分からない地震や大雨などの災害から、地域の皆さんの命と暮らしを守るためには、日頃から地域全体で防災について考え、備えておくことが何より大切だと考えたからです。

これまでの防災活動

菊連協では、これまで町内会と連携しながら、防災訓練や防災に関する研修、情報交換などに取り組んできました。

防災訓練では、避難場所の確認や避難経路の確認、災害時の初期対応などについて学ぶ機会を設けてきました。

また、防災に関する講習会や研修を通じて、災害が発生した際に地域でどのように助け合うのか、日頃からどのような備えが必要なのかについて、町内会の皆さんと情報を共有してきました。

さらに、災害時に必要となる防災用品や資機材についても確認し、いざというときに地域で活用できるよう、整備や点検にも取り組んできました。

こうした活動を通じて私たちが感じているのは、「**防災は特別な人だけが行うものではなく、地域の一人ひとりが関わるもの**」ということです。

なぜ、防災部を残したのか

町内会活動の中には、時代の変化とともに、その役割を終えたものもあります。

しかし、災害への備えについては、決してなくすことのできない活動です。

大きな地震が発生したとき、行政の支援がすぐに地域の隅々まで届くとは限りません。

そのときに大切になるのが、「**自分の身は自分で守る**」自助と、「**地域で助け合う**」共助です。

特に高齢者や一人暮らしの方、支援を必要とする方などについては、地域でお互いに気にかけて、助け合うことが重要になります。

だからこそ菊連協では、防災部を残し、地域防災について考え続けることにしました。

現在、力を入れていること

現在は、これまでの防災活動を継続するとともに、より実際の災害を想定した防災について考えることを大切にしています。

例えば、

- 地域の避難場所や避難経路の確認
- 防災訓練・防災研修の実施
- 防災用品・資機材の点検
- 災害時の町内会同士の連携
- 高齢者など支援を必要とする方への対応についての検討
- 災害時の情報伝達方法の確認
- 防災に関する情報の共有

など、地域でできることを一つひとつ確認しています。

また、防災については「訓練の日だけ考える」のではなく、日頃から地域の皆さんに関心を持っていただくことも重要だと考えています。

災害に備えて、今できること

災害は、いつ発生するか分かりません。

だからこそ、まずは自分自身や家族の安全を守るために、家具の転倒防止、非常持ち出し品の準備、飲料水や食料の備蓄、避難場所の確認など、身近なところから備えていただきたいと思います。

そして、いざというときには、近所の方と声を掛け合い、地域で助け合うことが大切です。

普段から顔の見える関係をつくっておくことも、大切な防災活動の一つだと考えています。

これからの菊水地区の防災

これからも菊連協では、町内会との連携を大切にしながら、地域防災の取り組みを進めていきます。

災害に強い地域をつくるためには、行政や関係機関だけでなく、地域住民一人ひとりの力が必要です。

「災害が起きてから」ではなく、**「災害が起きる前から」地域で備える。**

そのために、菊連協の防災部が中心となり、町内会の皆さんとともに、防災について考え、学び、行動する機会を増やしていきたいと考えています。

菊水地区に暮らす皆さんが、「ここに住んでいて安心だ」と思える地域をつくること。

それが、私たち菊水町内会連絡協議会の願いです。

これからも、安心・安全な菊水地区を目指して、地域の皆さんとともに防災活動に取り組んでまいります。